

(2) シナリオ 2 の予測

シナリオ 2 では、粗推計病床数に対する医師数は、2015 年 188.0 千人、2020 年 194.0 千人 2025 年 200.5 千人で、不足分充足病床数に対する医師数は、2015 年 208.0 千人、2020 年 223.0 千人 2025 年 239.5 千人となる。

不足分充足余剰分削減病床数に対する医師数は、2015 年 191.0 千人、2020 年 198.4 千人、2025 年 206.3 千人となる。この場合、2015 年 175.4 千人、2020 年 186.9 千人、2025 年 197.6 千人が、削減されずに継続する既存病床に対する医師数で、継続する既存病床には新たに 2015 年 17.6 千人、2020 年 34.1 千人、2025 年 49.5 千人の配置が必要である。新たな病床への配置には、2015 年 15.6 千人、2020 年 11.4 千人、2025 年 8.7 千人の医師が必要である。病床の削減によって過剰になるのは、2015 年 15.2 千人、2020 年 20.2 千人、2025 年 24.9 千人である。

継続する既存病床の医師数変化、新たな病床への配置、医師削減をあわせて、2015 年 48.5 千人、2020 年 65.7 千人、2025 年 83.1 千人の配置の変更が必要で、2015 年 18.0 千人、2020 年 25.3 千人、2025 年 33.3 千人の増員となる。

(3) シナリオ 3 の予測

シナリオ 3 では、粗推計病床数に対する医師数は、2015 年 205.2 千人、2020 年 235.0 千人 2025 年 267.2 千人で、不足分充足病床数に対する医師数は、2015 年 218.3 千人、2020 年 246.9 千人、2025 年 278.2 千人となる。

不足分充足余剰分削減病床数に対する

医師数は、2015 年 207.2 千人、2020 年 236.8 千人、2025 年 268.8 千人となる。この場合、2015 年 181.2 千人、2020 年 201.5 千人、2025 年 221.5 千人が、削減されずに継続する既存病床に対する医師数で、継続する既存病床には新たに 2015 年 18.2 千人、2020 年 36.7 千人、2025 年 55.5 千人の配置が必要である。新たな病床への配置には、2015 年 26.0 千人、2020 年 35.3 千人、2025 年 47.3 千人の医師が必要である。病床の削減によって過剰になるのは、2015 年 10.0 千人、2020 年 8.3 千人、2025 年 7.0 千人である。

継続する既存病床の医師数変化、新たな病床への配置、医師削減をあわせて、2015 年 54.2 千人、2020 年 80.3 千人、2025 年 109.8 千人の配置の変更が必要で、2015 年 34.2 千人、2020 年 63.8 千人、2025 年 95.8 千人の増員となる。

(4) 都道府県別の予測(表 6-表 8)

シナリオ別に都道府県別の推計を行った。2025 年の推計において、不足分充足余剰分削減病床数に対する医師数は、シナリオ 1 およびシナリオ 3 では、いずれの都道府県でも増員と予測されるが、シナリオ 2 では、7 県で減員と予測された。

2. 診療所医師数の推計(表 9)

患者調査の 1996 年から 2011 年の外来患者数について調査年を説明変数として、単回帰分析を試みた。病院外来患者数については、高い決定係数(0.99)が得られたが、病院と診療所をあわせた外来患者数および診療所外来患者数についての決定係数は、それぞれ、0.004 および 0.44 と低値であった。

この期間の病院外来患者数は、減少傾向が続いているが、病院と診療所をあわせた外来患者数および診療所外来患者数については一定の増減傾向はない。

そこで、病院外来患者数については患者調査から得られた回帰式をもとに予測を行った。これを、本研究班で実施した受療予測（井出の推計）から減じたものを、診療所外来患者数の予測としたところ、2010年 4,267千人、2015年 4,697千人、2020年 5,007千人、2025年 5,248千人であった。

2011年の患者調査の診療所外来患者数を2011年の医師歯科医師薬剤師調査の診療所の従事者である医師数で除すると、42.2人となることから、1日の外来患者数を40とすると、2010年 106.7千人、2015年 117.4千人、2020年 125.2千人、2025年 131.2千人となる。

D. 考察

病院と診療所の医師労働力の予測を、医師の人数として算出することを試みた。この推計は、必要な医師の人数を頭数として算出したものではない。病院については、3つのシナリオによる入院受療予測を元にアクセス分析を行った精神病院を除く一般病院についての病床数の推計に対し、病床あたりの医師数の予測を用いて、病院医師数を推計した。病床稼働率85%の条件でアクセス分析によって算出された不足分について病床を新設し、余剰病床を削減した場合、2025年の病院医師数は、シナリオ1で、287.4千人、シナリオ2で206.3千人、シナリオ3で268.8千人と推計された。診療所については、外来受療予測から予測される病院外来患者数を減じて算出される診療所外来患者数を

1日に診療する患者数で除することで、診療所医師数を推計した。2025年の診療所医師数は、131.2千人と推計された。ここに精神病院の医師数を加える必要がある。

この推計では、病院医師と診療所医師の労働力を独立に推計している。しかし、医師は、複数の病院と診療所の間で一人が重複した立場で労働をしていることが少なくない。算出された労働力を充足させるために必要な医師数を頭数として算出するには、一人の医師がどのように診療に従事しているかを明らかにする必要があるが、現状では、それについての調査結果を入手できていない。

医師の配置については、増員のみならず適切な配置が問題になる。アクセス分析に基づく病床の再配置によって、継続する既存病床の医師数変化、新たな病床への配置、医師削減をあわせて、2010年を基準にして、シナリオ1で124.0千人、シナリオ2で83.1千人、シナリオ3で109.8千人の医師の配置を変更する必要がある。特に、大都市を抱える都道府県では、配置変更になる医師の数も割合も高かった。偏在に対し、適切な配置を実現するシステムが必要である。

病床あたりの医師数についての推計は、病院報告の常勤換算の100床あたりの医師数から算出しているが、様々な要因に影響を受ける可能性がある。病院の規模の変化や機能の変化などが影響しており、これまでの増加傾向は、頭打ちになる可能性がある。いつ、どの値で頭打ちとなるかを予測は行っていないが、病床あたりの医師数の増加が止まれば、必要医師数も減少する。

病床数の推計（土井）では、余剰病床が不足病床数を上回る都道府県の出現を指摘しているが、医師が減員となる都道府県の

数は少ない。これは、病床あたりの医師数の増加によって起こっている。病床当たりの医師数の増加が頭打ちになった場合、減員となる都道府県数は増加する。100床あたりの医師数が2020年で頭打ちになって一定になったとすると、2025年には、シナリオ1で1県、シナリオ2で18県が減員になる。また、2015年で頭打ちになったとすると、2025年には、シナリオ1で1県、シナリオ2で26県、シナリオ3で3県が減員となり、シナリオ2では全国で減員となる。

病床の再配置が行われることを前提にすると、個々の医療機関の病床規模の変化を考慮する必要がある。病床規模により病床あたりの医師数が異なり、病床規模の変化がある場合、今回の推計のように予測された病床当たりの医師数を用いることが適切でない可能性がある。

病床規模は、大都市圏を抱える都道府県の推計に影響を与えている。大都市圏を抱える都道府県では、余剰病床も不足病床も多いと推計されており、病床と医師の配置の偏りが示唆される。大都市には、規模が大きく病床あたりの医師数が多い病院が存在しているため、都道府県別の推計を行った場合、病床数の調整以上に医師数の調整の必要性が大きく算出される。大都市圏の大病院の病床については、地域の枠をこえて高度先進医療を提供していると考えられ、患者住所地からのアクセスを考慮した再配分の対象とするべきかを検討する必要がある。大病院を抱えた地域については、アクセス分析も、病床あたりの医師数の予測についても、その解釈に注意が必要である。

診療所の外来受療は、病院外来患者数の変化を受けて、二次的に変化するものと

仮定した。病院外来患者数は減少傾向であるが、病院と診療所をあわせた外来患者数についても、診療所の外来患者数についても傾向を見出すことはできなかった。病院外来患者数には、制度的なコントロールなどの要因によって一定の傾向が出現していると予想し、傾向は持続すると仮定した。この推計では、本研究班における病院と診療所をあわせた外来患者数について推計（井出推計）から、病院外来患者数を引くことによって診療所外来患者数を推計した。この推計の診療所外来患者数は、病院外来の位置付けにより影響を受けて変動する可能性がある。

診療所の診療には、今後、在宅医療が加わるのが期待されている。この推計では、1日の診療患者数を40人として計算を行った。在宅医療では、移動時間等を考慮すると、より少ない患者の診療をすることしかできない可能性がある。訪問診療や往診について、別途の計算を行うためのデータを必要としている。

今後、病院の役割も診療所の役割も変化する可能性があり、現状の傾向を前提とすることには限界がある。特に、病床については、病床機能報告が行われるようになり、病床機能の分化が明確になるとともに、精緻なデータを入手できるようになる可能性がある。本推計は、適宜、見直される必要がある。

必要とされる医師の労働力を充足させるために必要な医師の頭数を算出することが、これからの医師養成を考える上では重要である。そのためには、本研究の推計に対し、個々の医師の働き方を考慮して、頭数を算出する必要がある。どれだけのどのような診療に従事するかという点からも、人生の中での労働の配分についても変化していくことが予

想されるが、現状の把握も充分ではなく、推計は難しい。

E. 結論

将来の医療需要予測に対して投入される労働力としての医師数の推計を行った。異なるシナリオによる入院受療予測に住所地からのアクセスを加味して予測された将来の必要病床数と、病床あたりの医師数の予測から、病院医師数を予測したところ、2010年には172.9千人で、2025年には、シナリオによって206.3千人から287.4千人と推計されるとともに、2010年を基準とした場合、2025年には、シナリオによって83.1千人から124.0千人の医師の配置を変更する必要があると推計された。特に、大都市を抱える都道府県では、配置変更になる医師の数も割合も高かった。また、外来需要予測から、病院外来患者数を減じて、診療所外来患者数を予測し、診療所医師が診療する患者数で除することで、診療所医師数を予測したところ、2010年106.7千人、2025年131.2千人と推計された。これらの推計値をもとに、医師の働き方を考慮することで、必要となる医師の頭数を推計することができる。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

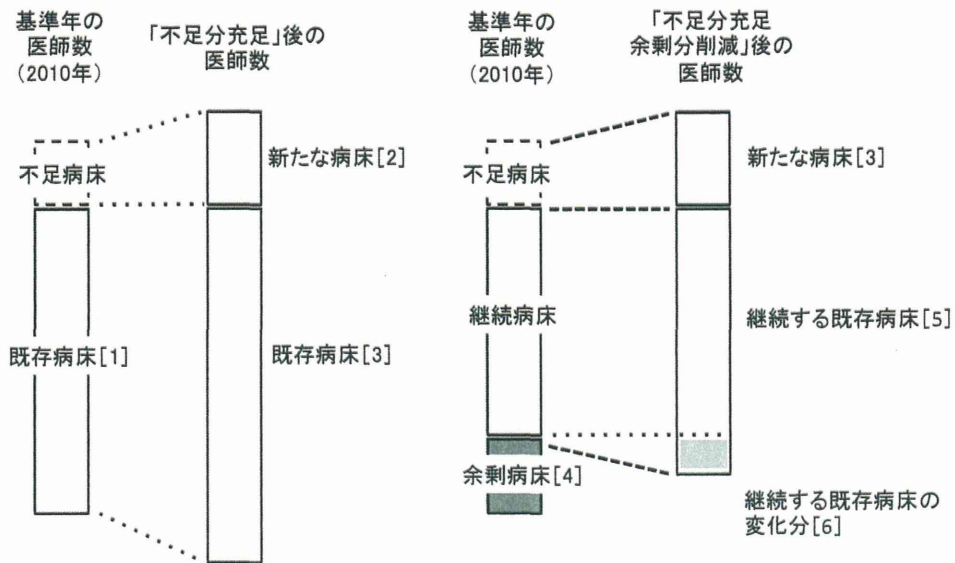


図1 病院医師数の推計の考え方

基準年の既存病床[1]には、基準年(2010年)の100床あたり医師数で医師が配置されている。「不足分充足」によって不足病床に対応する新たな病床[2]が設置され、その年の100床あたり医師数で医師が配置される。既存病床[3]については、その年の100床あたり医師数で医師が配置される。「不足分充足余剰分削減」によって、不足病床に対応する新たな病床[2]が設置され、その年の100床あたり医師数で医師が配置される。既存病床のうちの余剰病床[4]は削減され、基準年(2010年)の100床あたり医師数で医師が削減される。既存病床のうちの継続病床は、その年の100床あたり医師数で医師が配置され、継続する既存病床の変化分[6]が生じる。[3]、[4]、[6]の医師数の合計が配置変更になる医師の総数。[3]と[6]の合計から[4]を引いたものが医師数増減。

表1 一般病院必要医師数推計 全国 都道府県別(2010年)

単位:人

都道府県	100床あたり医師数(平成22年病院報告)	病床数に対する医師数				「不足分充足余剰分削減」における医師数変化			
		既存病床	粗推計病床	不足分充足	不足分充足余剰分削減	新たな病床へ配置分	削減病床分(削減医師数)	配置変更総数	医師数増減
北海道	10.0	7,774	7,778	8,278	7,853	505	425	930	80
青森県	10.5	1,422	1,516	1,606	1,529	183	76	260	107
岩手県	12.2	1,691	1,619	1,815	1,648	124	167	291	-43
宮城県	14.2	2,767	2,864	3,027	2,888	261	139	400	122
秋田県	12.1	1,453	1,459	1,585	1,478	133	107	240	25
山形県	12.9	1,473	1,526	1,593	1,536	120	57	177	63
福島県	10.7	2,274	2,240	2,435	2,269	161	165	327	-4
茨城県	12.4	3,088	2,570	3,129	2,654	41	475	516	-434
栃木県	15.8	2,657	2,210	2,677	2,280	19	397	416	-377
群馬県	12.5	2,388	2,404	2,551	2,426	163	125	288	38
埼玉県	14.1	6,708	6,447	7,237	6,565	529	671	1,200	-142
千葉県	14.8	6,366	5,477	6,572	5,641	206	931	1,137	-725
東京都	21.8	22,389	25,406	27,026	25,649	4,637	1,377	6,014	3,260
神奈川県	18.5	11,073	9,232	11,450	9,565	377	1,885	2,262	-1,508
新潟県	11.2	2,513	2,563	2,708	2,585	195	123	318	72
富山県	11.1	1,597	1,640	1,723	1,652	127	71	197	56
石川県	12.9	1,961	1,944	2,123	1,971	162	152	314	10
福井県	13.4	1,187	1,239	1,284	1,246	98	39	136	59
山梨県	13.1	1,145	947	1,154	978	8	176	184	-167
長野県	13.9	2,662	2,527	2,803	2,568	142	235	377	-93
岐阜県	13.8	2,294	2,040	2,442	2,100	147	342	489	-194
静岡県	12.8	4,317	3,812	4,408	3,902	91	506	597	-415
愛知県	16.3	8,846	9,243	9,836	9,332	990	504	1,494	486
三重県	12.2	1,917	1,568	1,946	1,625	29	321	350	-292
滋賀県	15.4	1,900	1,550	1,920	1,605	19	314	334	-295
京都府	15.1	4,480	4,003	4,796	4,122	316	674	989	-358
大阪府	15.5	13,822	14,695	15,378	14,797	1,556	581	2,137	976
兵庫県	13.7	7,144	6,543	7,486	6,685	342	802	1,144	-459
奈良県	14.0	1,884	1,399	1,894	1,473	10	421	431	-411
和歌山県	12.8	1,510	1,146	1,549	1,206	39	343	381	-304
鳥取県	12.7	904	879	920	885	16	35	51	-19
島根県	12.3	1,113	1,181	1,251	1,192	138	59	197	79
岡山県	14.3	3,269	3,386	3,624	3,422	355	202	557	153
広島県	11.9	3,795	3,926	4,104	3,953	309	151	460	159
山口県	9.7	2,069	2,053	2,261	2,084	192	177	369	15
徳島県	13.1	1,436	1,540	1,564	1,544	127	20	147	108
香川県	13.2	1,550	1,599	1,684	1,612	134	72	206	62
愛媛県	11.6	2,058	2,101	2,252	2,124	194	128	322	66
高知県	9.7	1,465	1,510	1,596	1,523	131	73	204	59
福岡県	12.8	8,402	9,349	9,742	9,408	1,340	334	1,674	1,006
佐賀県	11.4	1,258	1,375	1,465	1,388	207	77	284	130
長崎県	11.8	2,268	2,549	2,616	2,559	348	57	405	292
熊本県	10.7	2,721	3,117	3,175	3,125	454	50	503	404
大分県	13.0	1,943	2,168	2,221	2,176	278	46	324	233
宮崎県	10.4	1,420	1,543	1,582	1,549	161	33	195	128
鹿児島県	9.8	2,358	2,766	2,818	2,774	461	44	505	416
沖縄県	14.3	1,876	2,018	2,057	2,024	182	34	216	148
全国	14.0	173,019	172,869	189,121	175,306	16,102	13,814	29,916	2,287

表 2 一般病院必要医師数推計 全国 (シナリオ別)

単位:千人

		100床あたり 医師数 (人/100床)	病床数に対する医師数				「不足分充足余剰分削減」における2010年に比へた医師数変化				
			既存病床	粗推計病床	不足分充足	不足分充足 余剰分削減	新たな病床へ 配置分	既存病床への 新たな配置分	削減病床分	配置変更総数	医師数増減
シナリオ1	2010年	14.0	173.0	172.9	189.1	175.3	16.1		13.8	29.9	2.3
	2015年	15.6	192.4	209.4	221.4	211.2	29.0	18.3	9.2	56.5	38.2
	2020年	17.1	211.6	245.8	255.3	247.2	43.7	37.1	6.6	87.5	74.2
	2025年	18.7	230.9	286.2	293.8	287.4	63.0	56.2	4.8	124.0	114.3
シナリオ2	2015年	15.6		188.0	208.0	191.0	15.6	17.6	15.2	48.5	18.0
	2020年	17.1		194.0	223.0	198.4	11.4	34.1	20.2	65.7	25.3
	2025年	18.7		200.5	239.5	206.3	8.7	49.5	24.9	83.1	33.3
シナリオ3	2015年	15.6		205.2	218.3	207.2	26.0	18.2	10.0	54.2	34.2
	2020年	17.1		235.0	246.9	236.8	35.3	36.7	8.3	80.3	63.8
	2025年	18.7		267.2	278.2	268.8	47.3	55.5	7.0	109.8	95.8

表3 一般病院必要医師数推計 全国 都道府県別(シナリオ1 2025年)

単位:人

都道府県	100床あたり 医師数 (推計)	病床数に対する医師数				「不足充足余剰分削減」における2010年に比べた医師数変化				
		既存病床 (2010年再掲)	粗推計病床	不足充足	不足充足 余剰分削減	新たな病床へ 配置分	既存病床へ 新たな配置分	削減病床分 (削減医師数)	配置変更 総数	医師数 増減
北海道	13.3	7,774	13,014	13,161	13,036	2,791	2,565	94	5,450	5,262
青森県	14.2	1,422	2,235	2,314	2,247	394	481	50	924	825
岩手県	17.8	1,691	2,526	2,676	2,549	209	736	87	1,032	858
宮城県	19.6	2,767	4,757	4,803	4,764	988	1,038	28	2,053	1,997
秋田県	15.8	1,453	1,954	2,070	1,971	173	421	76	669	518
山形県	15.5	1,473	1,889	1,936	1,896	170	286	33	489	423
福島県	13.5	2,274	3,151	3,259	3,167	382	584	72	1,038	893
茨城県	15.4	3,088	3,943	4,149	3,974	313	713	141	1,167	885
栃木県	21.3	2,657	3,659	3,924	3,699	338	870	167	1,375	1,041
群馬県	16.1	2,388	3,757	3,852	3,772	773	673	63	1,509	1,384
埼玉県	19.2	6,708	11,877	12,126	11,915	3,011	2,351	156	5,518	5,207
千葉県	20.5	6,366	10,234	10,624	10,292	1,807	2,359	239	4,406	3,927
東京都	28.5	22,389	45,644	46,115	45,715	16,824	6,807	306	23,937	23,326
神奈川県	25.7	11,073	17,482	18,348	17,612	2,966	4,103	530	7,599	6,539
新潟県	13.7	2,513	3,473	3,554	3,485	490	540	56	1,085	973
富山県	14.5	1,597	2,583	2,607	2,587	518	487	16	1,021	990
石川県	17.7	1,961	3,262	3,288	3,266	593	727	16	1,336	1,305
福井県	17.2	1,187	1,840	1,857	1,843	334	333	12	679	656
山梨県	14.8	1,145	1,251	1,345	1,265	48	143	71	261	120
長野県	18.6	2,662	3,772	3,964	3,801	403	859	122	1,384	1,139
岐阜県	17.8	2,294	3,168	3,465	3,213	509	605	196	1,310	918
静岡県	17.1	4,317	6,231	6,457	6,265	697	1,395	144	2,237	1,949
愛知県	21.8	8,846	16,371	16,643	16,411	4,802	2,937	173	7,912	7,566
三重県	15.8	1,917	2,396	2,649	2,434	170	514	167	850	517
滋賀県	20.6	1,900	2,651	2,836	2,679	294	602	118	1,014	778
京都府	19.3	4,480	6,739	7,051	6,786	1,336	1,177	208	2,721	2,306
大阪府	20.9	13,822	26,338	26,468	26,358	7,849	4,769	82	12,700	12,536
兵庫県	19.5	7,144	11,821	12,215	11,880	2,046	2,925	235	5,206	4,736
奈良県	18.4	1,884	2,350	2,659	2,396	189	524	200	914	513
和歌山県	15.7	1,510	1,544	1,894	1,597	44	285	243	572	86
鳥取県	16.0	904	1,197	1,220	1,200	81	231	16	328	296
島根県	14.7	1,113	1,466	1,536	1,476	206	207	50	463	363
岡山県	20.1	3,269	5,643	5,736	5,657	1,137	1,308	56	2,501	2,388
広島県	13.3	3,795	5,415	5,502	5,428	1,267	432	66	1,765	1,633
山口県	11.8	2,069	2,875	3,031	2,899	518	420	109	1,047	829
徳島県	16.9	1,436	2,234	2,256	2,237	405	410	14	829	801
香川県	18.1	1,550	2,537	2,542	2,538	414	577	3	994	987
愛媛県	14.6	2,058	2,966	3,057	2,980	474	509	61	1,045	922
高知県	10.8	1,465	1,828	1,838	1,829	201	171	7	380	365
福岡県	16.6	8,402	15,422	15,579	15,446	4,656	2,490	102	7,249	7,044
佐賀県	15.6	1,258	2,172	2,230	2,181	508	450	36	994	923
長崎県	15.7	2,268	3,772	3,828	3,780	814	734	36	1,584	1,513
熊本県	14.4	2,721	4,716	4,790	4,727	1,137	915	46	2,099	2,006
大分県	17.5	1,943	3,345	3,399	3,353	786	658	34	1,479	1,410
宮崎県	12.2	1,420	2,053	2,072	2,056	403	246	14	664	635
鹿児島県	12.2	2,358	3,741	3,782	3,747	837	580	27	1,445	1,390
沖縄県	21.5	1,876	3,989	4,025	3,994	1,208	931	21	2,160	2,118
全国	18.7	173,019	286,226	293,815	287,364	62,958	56,222	4,835	124,014	114,345

表 4 一般病院必要医師数推計 全国 都道府県別(シナリオ 2 2025 年)

単位:人

都道府県	100床あたり 医師数 (推計)	病床数に対する医師数				「不足分充足余剰分削減」における2010年に比べた医師数変化				
		既存病床 (2010年再掲)	粗推計病床	不足分充足	不足分充足 余剰分削減	新たな病床へ 配置分	既存病床への 新たな配置分	削減病床分 (削減医師数)	配置変更 総数	医師数 増減
北海道	13.3	7,774	8,023	10,440	8,386	70	2,082	1,540	3,691	612
青森県	14.2	1,422	1,371	1,927	1,455	7	376	350	733	33
岩手県	17.8	1,691	1,593	2,468	1,724	0	542	510	1,052	33
宮城県	19.6	2,767	3,347	3,889	3,428	74	922	334	1,330	662
秋田県	15.8	1,453	1,377	1,908	1,457	11	339	345	695	4
山形県	15.5	1,473	1,636	1,813	1,662	47	267	126	441	189
福島県	13.5	2,274	2,171	2,910	2,282	32	472	496	1,000	8
茨城県	15.4	3,088	2,856	3,841	3,004	5	584	674	1,263	-85
栃木県	21.3	2,657	2,558	3,586	2,712	0	702	647	1,350	55
群馬県	16.1	2,388	2,863	3,163	2,908	84	634	198	916	520
埼玉県	19.2	6,708	8,210	9,545	8,410	430	2,107	835	3,372	1,703
千葉県	20.5	6,366	7,168	8,997	7,443	180	2,019	1,122	3,322	1,077
東京都	28.5	22,389	29,748	32,871	30,216	3,580	6,276	2,029	11,886	7,827
神奈川県	25.7	11,073	10,848	15,560	11,555	178	3,187	2,883	6,248	482
新潟県	13.7	2,513	2,860	3,191	2,909	126	501	230	858	397
富山県	14.5	1,597	1,882	2,150	1,922	61	438	174	673	326
石川県	17.7	1,961	2,302	2,756	2,370	62	628	281	971	409
福井県	17.2	1,187	1,364	1,543	1,391	20	303	118	441	204
山梨県	14.8	1,145	1,070	1,306	1,106	8	129	177	314	-40
長野県	18.6	2,662	3,223	3,697	3,294	135	798	301	1,235	632
岐阜県	17.8	2,294	2,253	3,036	2,370	80	513	516	1,109	76
静岡県	17.1	4,317	4,598	5,798	4,778	38	1,188	764	1,990	461
愛知県	21.8	8,846	10,815	12,298	11,038	457	2,677	942	4,075	2,192
三重県	15.8	1,917	1,738	2,479	1,849	0	419	487	907	-68
滋賀県	20.6	1,900	2,288	2,630	2,340	88	568	217	873	439
京都府	19.3	4,480	5,322	6,115	5,441	401	1,089	529	2,018	960
大阪府	20.9	13,822	18,380	19,990	18,621	1,371	4,445	1,016	6,831	4,800
兵庫県	19.5	7,144	8,626	10,405	8,893	236	2,575	1,062	3,873	1,749
奈良県	18.4	1,884	1,683	2,470	1,801	0	428	510	938	-83
和歌山県	15.7	1,510	1,218	1,860	1,315	10	240	445	694	-196
鳥取県	16.0	904	1,092	1,157	1,102	17	224	44	285	197
島根県	14.7	1,113	1,263	1,413	1,286	83	196	106	385	173
岡山県	20.1	3,269	4,256	4,857	4,346	258	1,183	363	1,803	1,077
広島県	13.3	3,795	3,938	4,383	4,005	148	401	339	888	210
山口県	11.8	2,069	2,060	2,577	2,137	63	366	362	791	68
徳島県	16.9	1,436	1,480	1,858	1,537	7	343	249	599	100
香川県	18.1	1,550	1,756	2,142	1,814	14	489	239	742	263
愛媛県	14.6	2,058	2,049	2,600	2,132	17	430	373	820	74
高知県	10.8	1,465	1,218	1,646	1,282	10	134	326	469	-182
福岡県	16.6	8,402	10,578	11,639	10,738	717	2,312	693	3,723	2,336
佐賀県	15.6	1,258	1,528	1,807	1,570	85	400	173	658	312
長崎県	15.7	2,268	2,602	3,112	2,678	99	638	327	1,064	411
熊本県	14.4	2,721	3,344	3,721	3,400	69	849	239	1,157	679
大分県	17.5	1,943	2,402	2,699	2,447	87	605	188	879	504
宮崎県	12.2	1,420	1,355	1,676	1,403	6	208	232	447	-18
鹿児島県	12.2	2,358	2,880	3,124	2,916	179	546	166	891	559
沖縄県	21.5	1,876	2,738	2,896	2,762	78	897	89	1,065	886
全国	18.7	173,019	200,460	239,537	206,322	8,679	49,516	24,893	83,089	33,302

表5 一般病院必要医師数推計 全国 都道府県別(シナリオ3 2025年)

単位:人

都道府県	100床あたり 医師数 (推計)	病床数に対する医師数				「不足分充足余剰分削減」における2010年に比べた医師数変化				
		既存病床 (2010年再掲)	粗推計病床	不足分充足	不足分充足 余剰分削減	新たな病床へ 配置分	既存病床への 新たな配置分	削減病床分 (削減医師数)	配置変更 総数	医師数 増減
北海道	13.3	7,774	11,572	11,881	11,619	1,511	2,531	197	4,238	3,845
青森県	14.2	1,422	1,850	2,056	1,880	135	453	130	718	458
岩手県	17.8	1,691	2,041	2,501	2,110	33	653	268	954	419
宮城県	19.6	2,767	4,127	4,232	4,143	417	1,024	64	1,505	1,376
秋田県	15.8	1,453	1,857	2,026	1,882	129	411	110	650	430
山形県	15.5	1,473	2,047	2,065	2,050	300	290	13	603	576
福島県	13.5	2,274	2,900	3,124	2,934	247	564	151	961	660
茨城県	15.4	3,088	3,767	4,051	3,809	215	700	195	1,110	721
栃木県	21.3	2,657	3,397	3,744	3,449	158	852	218	1,229	792
群馬県	16.1	2,388	3,722	3,819	3,736	739	673	64	1,476	1,348
埼玉県	19.2	6,708	11,410	11,682	11,451	2,567	2,346	170	5,084	4,743
千葉県	20.5	6,366	10,038	10,443	10,098	1,626	2,356	249	4,230	3,733
東京都	28.5	22,389	40,859	41,860	41,009	12,569	6,701	651	19,921	18,620
神奈川県	25.7	11,073	15,112	16,841	15,371	1,459	3,898	1,058	6,415	4,299
新潟県	13.7	2,513	3,645	3,704	3,654	640	543	41	1,223	1,141
富山県	14.5	1,597	2,415	2,453	2,420	364	484	25	874	824
石川県	17.7	1,961	2,929	3,018	2,943	324	712	55	1,091	981
福井県	17.2	1,187	1,679	1,718	1,685	194	329	26	549	498
山梨県	14.8	1,145	1,301	1,370	1,311	73	145	52	270	166
長野県	18.6	2,662	3,848	4,020	3,874	459	863	109	1,431	1,213
岐阜県	17.8	2,294	2,892	3,297	2,953	341	585	267	1,193	658
静岡県	17.1	4,317	6,141	6,388	6,178	628	1,391	157	2,177	1,862
愛知県	21.8	8,846	14,187	14,681	14,261	2,839	2,890	313	6,042	5,415
三重県	15.8	1,917	2,126	2,549	2,189	69	481	278	828	273
滋賀県	20.6	1,900	2,782	2,923	2,803	381	611	89	1,082	903
京都府	19.3	4,480	6,901	7,163	6,940	1,449	1,186	175	2,809	2,460
大阪府	20.9	13,822	25,422	25,592	25,448	6,973	4,760	107	11,841	11,626
兵庫県	19.5	7,144	11,602	12,024	11,665	1,856	2,918	252	5,026	4,521
奈良県	18.4	1,884	2,292	2,620	2,341	150	520	213	883	458
和歌山県	15.7	1,510	1,585	1,904	1,633	53	290	221	564	123
鳥取県	16.0	904	1,286	1,294	1,287	154	234	5	393	383
島根県	14.7	1,113	1,539	1,591	1,547	261	210	37	507	434
岡山県	20.1	3,269	5,160	5,365	5,191	766	1,280	124	2,170	1,922
広島県	13.3	3,795	5,051	5,183	5,071	948	428	100	1,477	1,276
山口県	11.8	2,069	2,820	2,984	2,844	471	419	115	1,005	775
徳島県	16.9	1,436	1,934	1,984	1,941	134	405	34	572	505
香川県	18.1	1,550	2,216	2,322	2,232	193	553	66	812	681
愛媛県	14.6	2,058	2,603	2,796	2,632	213	492	131	835	574
高知県	10.8	1,465	1,653	1,733	1,665	96	165	60	321	201
福岡県	16.6	8,402	14,290	14,511	14,323	3,589	2,477	145	6,211	5,921
佐賀県	15.6	1,258	2,013	2,113	2,028	391	441	62	894	770
長崎県	15.7	2,268	3,548	3,618	3,558	605	731	45	1,381	1,291
熊本県	14.4	2,721	4,447	4,540	4,461	888	911	59	1,857	1,740
大分県	17.5	1,943	3,121	3,199	3,132	587	653	50	1,289	1,189
宮崎県	12.2	1,420	1,834	1,872	1,840	203	244	28	475	419
鹿児島県	12.2	2,358	3,659	3,706	3,666	761	579	32	1,372	1,308
沖縄県	21.5	1,876	3,504	3,558	3,512	740	927	30	1,697	1,637
全国	18.7	173,019	267,153	278,167	268,805	47,310	55,492	7,017	109,819	95,785

表 6 診療所医師数の推計 全国

単位:千人

	[1] 外来患者総数	[2] 病院 外来患者数	[3] 診療所 外来患者数	診療所医師数
			[1]-[2]	[3]/1日診療患者数
2010年	5,934.3	1,666.4	4,267.9	106.7
2015年	6,158.9	1,461.2	4,697.7	117.4
2020年	6,263.2	1,256.1	5,007.1	125.2
2025年	6,299.1	1,050.9	5,248.2	131.2

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

該当なし

Ⅳ. 研究成果の刊行物・別刷

該当なし

